



GLOBAL TRADE

Classifier

輸出入時の品目分類を効率化

輸出入業務において、品目分類は絶えず行う必要がある作業であり、膨大な作業量を伴う一方で、関連規制は頻繁に変更されるため、時間がかかりエラーを起こしやすい作業として、貿易コンプライアンス部門にとって大きな負担となっている企業も少なくありません。トムソン・ロイターのONESOURCE™ Classifierは、品目分類のワークフローを合理化・自動化し、品目分類作業に費やす時間やリソースの削減、分類精度の向上、関連部門間のコラボレーションの向上を可能にします。

ONESOURCE Classifierは半自動の品目分類バッチ処理機能を備え、プランニング、リサーチ、コンプライアンス、モニタリング、入力後のレビューに必要なグローバル貿易情報へのアクセスも提供します。Classifierを使うことで時間を要する手入力処理にかかる労力を削減し、付加価値の高い業務により多くの時間を使うことができるようになります。

常に一貫した作業プロセス

ONESOURCE Classifierは、業務の割り当て／管理／トラッキングの自動化をすることで、品目分類作業を効率化します。また、品目分類が必要な製品をClassifier内のタスクとして設定し、担当者にアサインすることができます。Classifierを使うことで、品目分類タスクの作成・モニタリング、部門のKPIとの比較が可能となることから、障壁についてマネジメント陣へ適切に注意喚起をすることが可能です。Classifierは製品分類プロセスを透明化して一貫した意思決定を確保するとともに、エラーの発生率を低下させ、潜在的なエラーを事前に警告します。

情報共有とアクセス

異なるシステムやエクセルシートの利用は、貿易コンプライアンス部門が社内で製品情報を共有することを困難にします。

ONESOURCE Classifierを使って、単一／複数インスタンスの製品データベースを構築することで、社内での製品情報の共有が容易にできます。また、製品データベースをアプリケーションにアップロードすることで、バッチ処理で品目分類を行い、6桁のHSコードを割り当て、160カ国以上にわたるそれぞれの国における任意の桁数の品目分類を瞬時に行うことができます。

既存の製品データベースとClassifierを併用することで、製品の過去の分類記録に基づいたHSコードの割り当てが推奨されるため、HSコードの割り当てにかけていた時間を短縮できます。

監査への備えとコンプライアンス

貿易コンプライアンスのプロフェッショナルは、新たな国で物品調達や販売を始める際の影響についての質問を受けることが多いです。Country Comparison機能を利用すれば、複数国における規制上の問題のサマリーを作成し、社内で共有することが可能です。

ONESOURCE Classifierはトランザクションの監査証跡を維持し、関税当局の調査に対する準備をサポートします。監査証跡はダウンロード／印刷可能で、社内の関係者や関税当局と共有することもできます。各種文書(品目分類証明書、Eメール、規制関連情報、製品仕様、ダイアグラムなど)を個々の製品記録に添付することにより、品目分類決定を簡単に裏付けることも可能です。

ONESOURCE CLASSIFIERは 企業のグローバル取引をサポート：

- + 品目分類の精度を向上
- + 品目分類作業に費やす時間を短縮
- + 部門やロケーションに関わらず、品目分類決定の一貫性を確実に
- + 製品分類と評価に対して規制上の変更が及ぼす影響を判断
- + 品目分類決定に必要なグローバルコンテンツにアクセス
- + 品目分類決定のための監査証跡を維持
- + 貿易コンプライアンス業務のパフォーマンスを測定
- + 品目分類作業の割り当て、管理、追跡

機能	アクティビティ
半自動化された バッチ分類	ONESOURCE Classifierで製品データベースをアプリケーションにアップロードし、バッチ分類で6桁のHSコードを割り当て。160カ国以上の国別HSコードを即時に割り当てられます。
品目分類 ワークフロー	品目分類作業の割り当て、管理、追跡を自動化。分類が必要な製品をONESOURCE Classifier内のタスクとして設定し、担当者にアサインすることができます。分類タスクのモニタリングや、部門のKPIとの比較が可能です。また、障壁についてマネジメント陣へ適切に注意喚起をすることが可能です。
全世界でアクセス 可能な製品データ ベース	ONESOURCE Classifierで単一／複数インスタンスの製品データベースを構築し、社内での製品情報の共有が簡単にできます。
監査証跡	製品の分類、評価、関税算定の元データとなる個々の製品記録に根拠書類を添付。個々の製品分類の詳細を記載した品目分類証明書、内部文書、図面、画像、メモ、Eメールのやり取り、根拠となる規制関連文書(トムソン・ロイターのCheckpoint™*からダウンロード可能)などが含まれます。

* Checkpointは、トムソン・ロイターがオンラインで提供する国際貿易リサーチのプラットフォームです。

お問い合わせ先

トムソン・ロイター
タックス&アカウントिंग

03 6441 1930

TaxJP@thomsonreuters.com

thomsonreuters.co.jp/tax

